

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年12月25日（水）

2 確認箇所

8.5m盤（2, 3号機タービン建屋東側）

3 確認項目

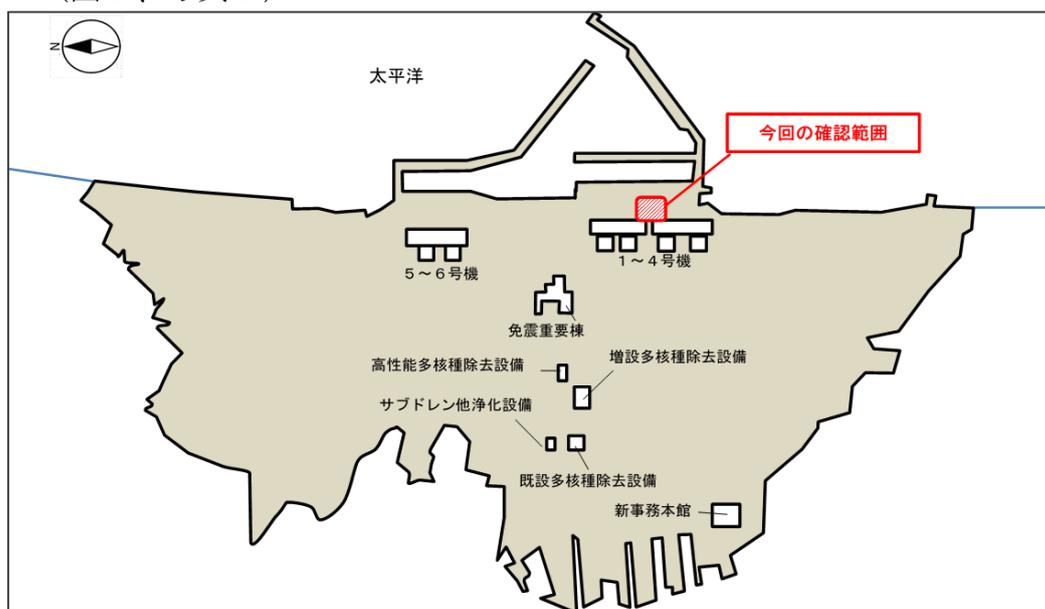
海水配管トレンチ内滞留水浄化設備撤去作業の状況

4 確認結果の概要

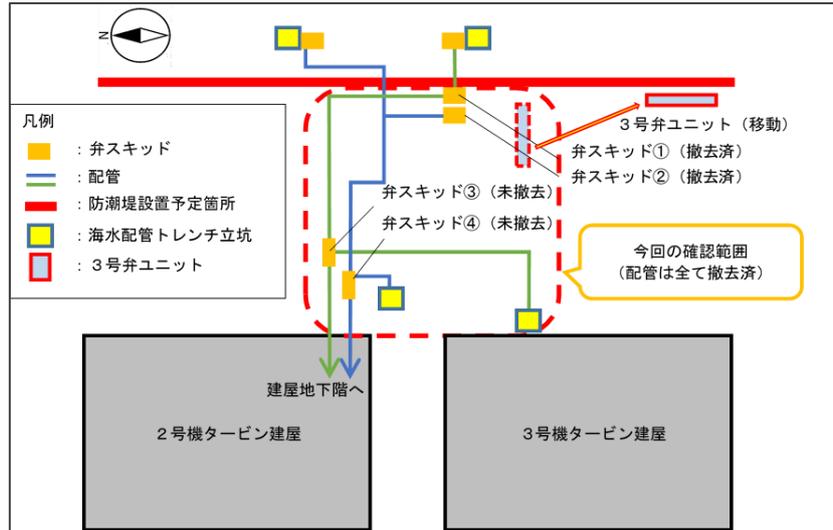
切迫性が高いとされている千島海溝津波に対して、建屋への海水の流入に伴う汚染水流出と増加の防止、8.5m盤の重要設備への津波被害軽減を目的として、1～4号機タービン建屋東側に防潮堤の設置工事が実施されている。

防潮堤設置工事に干渉し、現在は使用されていない海水配管トレンチ内滞留水浄化設備の撤去作業（図1・2）が行われていることから、現状を確認した。（前回確認：[令和元年8月20日](#)）

- ・海水配管トレンチ内滞留水浄化設備の配管は全て撤去されていた。また、弁スキッドについても一部を除き撤去されていた。なお、撤去されていない弁スキッドについても配管は取り外され、配管が取り外された箇所にはビニール養生がされていた。（図2、写真1）
- ・3号弁ユニットを積載したトラックは南側に移動され、仮置きされていた。（図2、写真2）



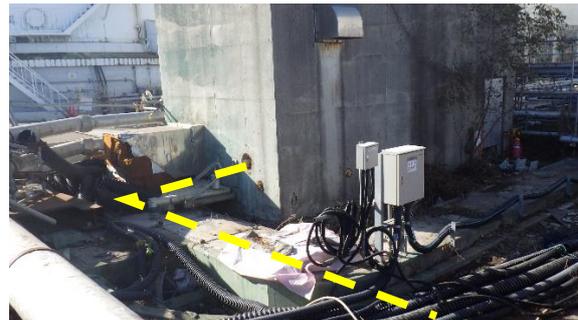
（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



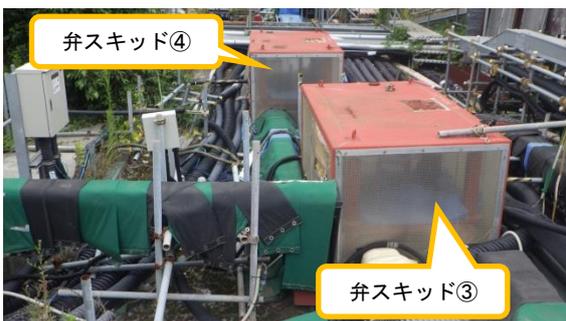
(図2) 海水配管トレンチ内滞留水浄化設備撤去範囲概略図



(写真1-1)
撤去された配管の一例 (撤去前)
前回 (令和元年8月20日撮影)



(写真1-2)
撤去された配管の一例 (撤去後)
今回 (令和元年12月25日撮影)



(写真1-3)
弁スキッド③、④ (配管取り外し前)
前回 (令和元年8月20日撮影)



(写真1-4)
弁スキッド③、④ (配管取り外し後)
今回 (令和元年12月25日撮影)



(写真1-5)
弁スキッド①、② (撤去前)
前回 (令和元年8月20日撮影)



(写真1-6)
弁スキッド①、② (撤去後)
今回 (令和元年12月25日撮影)



(写真2-1)
3号弁ユニット (移動前)
前回 (令和元年8月20日撮影)



(写真2-2)
3号弁ユニット (移動後)
今回 (令和元年12月25日撮影)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。